

実践報告 10

パフォーマンステストの指導と評価の在り方について

—ライティングテストの実践とルーブリックを使った評価の報告—

愛知県立尾西高等学校 教諭 岩本 修

1 はじめに

使用場面を想定し、使える英語を身に付けることが授業の大きな目標である。パフォーマンステストにより生徒の到達度を測る際に、到達度を示す指標としてのルーブリックは必要不可欠である。生徒の実践的な英語力の育成を目指し、授業改善を見据えたパフォーマンステストの在り方を考察する。

2 単元の目標と言語活動

(1) 教材

ア 教科書：Vivid English Expression II（東京書籍）

イ 単元：Lesson 30 The Olympic Games

(2) 単元の目標

- ・ 予定や理由、願望を表すさまざまな表現について理解し、使うことができる。
- ・ 学習した表現を使って、読み手に伝わるように、自分の考えを具体例、体験などを交えて、論理的に書くことができる。

3 関係する領域別目標（学年のCAN-DO）

聞くこと	・好きなもの、学校生活、家庭生活など身近な話題に関する相手の発言を理解できる。 ・相手の質問を理解し、答えることができる。
読むこと	・身近な話題に関する英文を読み、辞書を引きながら理解できる。 ・英文の内容を理解し、自分が必要とする情報を探し出すことができる。
話すこと [やり取り]	・学校生活や、家庭生活に関して、クラスメイトと意見の交換ができる。 ・クラスメイトなどの英語のやり取りを聞き、内容を理解できる。
話すこと [発表]	・好きなもの、学校生活、家庭生活など、簡単な単語で簡潔に話すことができる。 ・繰り返し練習し、テストで発表できる。
書くこと	・好きなもの、学校生活、家庭生活などについて平易な文で簡潔に書くことができる。 ・主語、動詞の語順を意識して具体例を挙げながら自分の考えを書くことができる。

4 単元の評価規準（五つの領域ごとの評価規準の設定）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> 予定や理由、願望を表す表現とその使用場面やきまりを理解している。 <技能> 予定や理由、願望を表す表現	予定や理由、願望を表す表現が使われる会話、社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	社会的な話題、話し手の気持ち、考えに対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。

	が使われる会話，社会的な話題について話された内容を聞く技能を身に付けている。		
読むこと	<p><知識> 予定や理由，願望を表す表現とその使用場面やきまりを理解している。</p> <p><技能> 予定や理由，願望を表す表現が使われる話題について，その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>予定や理由，願望を表す表現が使われる話題について，必要な情報を読み取り，書き手の意図や概要，要点を捉えている。</p>	<p>社会的な話題，書き手の気持ち，考えに対する理解を深め，主体的，自律的に英語で書かれていることを読もうとしている。</p>
話すこと [やり取り]	<p><知識> 予定や理由，願望を表す表現とその使用場面やきまりを理解している。</p> <p><技能> 予定や理由，願望を表す表現が使われる会話，社会的な話題について，論理性に注意して自分の気持ちを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>予定や理由，願望を表す表現が使われる会話，社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりしている。</p>	<p>社会的な話題，話し手の気持ち，考えに対する理解を深め，聞き手に配慮しながら，主体的，自律的に伝え合おうとしている。</p>
話すこと [発表]	<p><知識> 予定や理由，願望を表す表現とその使用場面やきまりを理解している。</p> <p><技能> 予定や理由，願望を表す表現が使われる会話，社会的な話題について，論理性に注意して自分の気持ちを伝える技能を身に付けている。</p>	<p>予定や理由，願望を表す表現が使われる会話，社会的な話題について，必要な情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して話して伝えている。</p>	<p>社会的な話題，話し手の気持ち，考えに対する理解を深め，聞き手に配慮しながら，主体的，自律的に話して伝えようとしている。</p>
書くこと	<p><知識> 予定や理由，願望を表す表現とその使用場面やきまりを理解している。</p> <p><技能> 予定や理由，願望を表す表現を使い，論理性に注意して自分の考えや気持ちを書いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>予定や理由，願望を表す表現を使って，自分の意見や社会的な話題について，必要な情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して書いて伝えている。</p>	<p>予定や理由，願望を表す表現を使って，社会的な話題，自分の意見や考えを，読み手に配慮しながら，分かりやすい英語で論理的に書こうとしている。</p>

5 言語活動を中心とした指導と評価の計画

時間	ねらい, 学習活動	評価の観点			指導上の留意点 評価規準 (評価方法)
		知	思	主	
1 2	<p>【ねらい】単元の目標を理解し, 実践的な使用場面を理解し, 学習課題に対する理解を深める。</p> <p>【学習活動】志望動機について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で志望動機の書き方, 内容や使われる英語表現, その目的などについて学ぶ。 ・志望動機等を書くときに使われる英語表現など教科書の例文などを用いて習得する。 				予定や理由, 願望を表す表現についてその使用場면을踏まえて理解させる。その上で自身の考えを構成し, 必要な知識, 技能を身に付けるための積極的な取組を観察する。
3 4	<p>【ねらい】専攻分野について理解を深める。</p> <p>【学習活動】インターネットを使って調べ学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットやスマートフォンを使い, 大学のカリキュラムや教育内容について調べる。 ・読み手を意識し, 自分の意見を論理的に組み立て, 分かりやすい英語表現を考える。 				自身の志望動機を書く際に必要な情報をさまざまなツールを用いて主体的, 意欲的に調べているか観察する。必要であれば適宜助言を行う。
5 6	<p>【ねらい】英語を調べながら英文を完成させる。</p> <p>【学習活動】自分の意見や主張のアウトラインを書き出し, 原稿を書き上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使ってアウトラインを書き, それをベースに原稿を書き上げる。教師からのフィードバックも参考にする。 ・クラスメイトと自身の原稿を読み合い, さまざまな人の意見を参考に改善点を意見交換して, 原稿をよりよいものにする。 				論理的に自身の考えを述べるために構成や表現を工夫しながら, スクリプトを完成させようとしているか観察する。さまざまな英語表現に関しては教師の方から助言を行う。
後日	振り返り	○	○	○	振り返り

6 パフォーマンステスト

(1) 実施方法

自分自身の進学先の「志望動機, 志望理由」をテーマにライティングテストを実施する。身に付けさせたい英語表現について授業を行った後, 調べ学習, 書く作業へと移る。2回から3回程度添削, 書き直しの機会をつくり, できるだけ自分の力で書く主体的な取組を促し, 意欲を含めた観点別評価を行う。

(2) 指導上の留意点

実施方法でも示した通り, 自ら調べ, 主体的な取組を促し, 観点別評価として評価していくことを予告する。ただ, 情報を調べる方法や, さまざまな英語表現など, 教師は適宜アドバイスを行う。観点別評価はルーブリックで生徒に分かりやすいように示し, 生徒がテストにスムーズに取り組めるように具体的な条件を設定する。生徒のレベルに合わせて, 英文を書きやすくするために, 使用する英語の条件などを細かく設定し, 模範となる英文の提示なども行う。

7 ルーブリック

(1) 評価方法

各評価の領域において生徒に分かりやすい具体的な採点基準を設定し、クリアすべき基準を生徒と共有する。より客観的な評価ができるよう、使用すべき具体的な英語表現、分量などを提示する。

(2) 評価の領域（内容のまとめり）

【条件】

- ① 論理の構成や展開を工夫して、四つ以上(序論とまとめ含む)の段落から成る文章で書くこと。
- ② 自身の専攻分野に関して志望理由が明確に示されていること。「具体例や自身の経験」と「今後の抱負や夢」を必ず盛り込むこと。
- ③ 自身の専攻する分野に関して知識がない人にも分かるような論理構成で（文と文やパラグラフとパラグラフのつながりに無理がないか等）、平易な英語を使って書く。
- ④ 理由を表す表現（because~など）、目的を表す表現（to do など）、願望を表す表現（hope, would like to など）、未来表現（will など）をそれぞれ必ず一回は使用すること。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<知識> 予定や理由、願望や目的の表現を理解している。 <技能> 予定や理由、願望や目的表現を使って、自分の考えを伝えている。	予定や理由、願望や目的表現を使って、自分の考えを論理性に注意して書いて伝えている。	予定や理由、願望や目的表現を使って、自分の考えを論理性に注意して書いて伝えようとしている。
a (5点)	四つの条件を全て満たした上で、語彙や表現の選択も適切で、理解しやすい英文を用いて書いている。	四つの条件を全て満たした上で、自分の考えを分かりやすく書いている。	四つの条件を全て満たした上で、自分の考えを伝えようとしている。
b (3点)	二つの条件を満たし、誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	二つの条件を満たして書いている。	二つの条件を満たして書こうとしている。
c (1点)	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「おおむね満足できる」状況を b とする

8 実践報告

(1) 実践の内容

実践の流れ	留意事項
1 授業実践	パフォーマンステストの予告、ルーブリックの提示
2 調べ学習、構成を考える	説得力のある論理構成も含め、主体的に取り組ませる
3 実際に書き始める	調べながら書き進めさせる
4 教員による添削	3回の添削（あくまで生徒の主体的な取組を前提に）
5 振り返り、事後学習	よくある間違い、生徒のつまずきを踏まえた助言、講評

「志望動機，志望理由」をテーマに，100～120 語程度の英文を書かせた。パラグラフライティングを理解した上で，論理の展開を意識して書くように指示した。ワークシートを用意し，主体的な取組も含め，採点基準をループリックの形で示した。ループリックは使用する英語表現など，できるだけ具体的に提示した。生徒の英語力が高くないので，具体的な条件や使用すべき英語表現を指定する方がスムーズに取り組みると考え，できるだけ詳細で分かりやすいワークシートを作成することを心がけた。

(2) 検証方法

生徒の作成した英文を，採点基準を基に評価する。採点基準の四つの条件は生徒にも分かるように詳細に設定している。評価に客観性をもたせるため，生徒の主体的な取組を促し，生徒の実践の様子を見ると同時に，出来上がった作品を評価対象とし，採点基準の妥当性を検証した。

(3) 実践の結果と考察

もともと真面目に取り組む生徒が多い上に，配点を高く設定し，評価に結び付くことを強調したので，生徒たちは非常に前向きに取り組んでいた。教師からのサポートが前提になるが，ループリックで条件を細かく設定するなどしたことで，スムーズな実施につなげることができた。自分の考えを問う題目設定だったので，自分の考えを明確にもっている生徒はこちらが考えていた以上の成果を出してくれた。英語力だけでなく，自身の意見を英語で伝える意欲が問われる形になり，「主体的に学習に取り組む態度」も客観的に測ることができるテストになった。評価の例を以下に示したい。以下はある生徒の書いた英文の第一稿と最終稿である。調べ学習への助言，添削指導により大きく改善していることが分かる。主体的な取組も良好で，使うべき英文が使われていないなどの理由で知識・技能は b 評価にしたが，その他は積極的な取組も踏まえ a 評価とした。改善の状況や取組の姿勢を柔軟に評価していくことで，客観性のある評価が重要であると考えた。一方で，評価規準と評価のずれが大きくなることは望ましくない。実践を通して継続的に改善をしていくことが重要であることが分かった。

[実践例]

第1稿

My dream is to be speech therapist. To grandma when I was in elementary school, I was taken to a sing language class. That experience made me interested second.

最終稿

My dream is to be a speech therapist. I have two reasons.

First, I used to go to sign language class with my grandmother when I was in elementary school. That experience made me get interested in speech therapist. There I learned how to treat people who are deaf.

Second, I like talking to people. Therefore, I would like to communicate with many patients and make them happy smile using my communication skills.

For these reasons, I want to study a lot about speech therapist to make my dream come true. In the future, I want to become a speech therapist, who is always warm and close to the patient.

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	a	a

(4) 成果と課題

まず課題であるが、パフォーマンステストに必要な時間と労力の確保はやはり大きな課題である。ただ、ループリックの作成やワークシートの工夫で効率的な実施は可能ではないかと感じた。また、何よりも生徒の実践が重要であり、生徒の主体的な取組にある程度任せるという割り切りも必要だと思ふ。

成果については、多くの生徒が予想以上によい成果を出し、生徒の潜在能力の高さを認識することができた。英語表現の蓄積がなく、文法も十分に身に付いていない生徒にとっては、細かく採点基準が示され、使うべき英語表現もある程度提示されている方が取り組みやすいことが分かった。意欲の評価に関しても英語力の高い生徒が必ずしもよい評価を得たわけではなく、意欲的に取り組む姿勢も適切に評価できていたと思う。このパフォーマンステストを通じて、単元で学んだ英語表現が身に付いているかどうかを評価することができたことは大きな成果だった。そして何よりも、この実践が学んだことを使う機会になり、生徒の学びが日々の授業を通じて自律的に進んでいくよいきっかけとなることが分かったことが最大の成果だと言える。

9 参考文献

- ・文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説外国語編英語編』
- ・文部科学省 国立教育政策研究所（2019）『学習評価の在り方ハンドブック（高等学校編）』
- ・国立教育政策研究所（2021）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校外国語』
- ・上山晋平（2020）『中学・高校英語ライティング指導』学陽書房
- ・根岸雅史（2017）『テストが導く英語教育改革』三省堂
- ・投野由紀夫編（2013）『英語到達度指標 CEFR-J ガイドブック』大修館書店
- ・投野由紀夫、根岸雅史編著（2020）『CEFR-J リソースブック』大修館書店

2学期ライティング パフォーマンステスト

テーマ

志望動機，志望理由を英語で書いてみよう！

ルール(条件)

※自分の力で(自分で調べて)主体的に取り組むこと。卒業後は主体性がとても重要になります。

→今回のパフォーマンステストは先生があれやこれやと指示はしません(助言はもちろんします)。

できるだけみんなが自力で書いたものを評価したいと思っています。

1 以下，形式に関する二つの条件を満たしているか？

- ① 段落は四つ以上使って書く。
- ② 80語以上の英語で書く(100字以上であれば加点)。

2 志望理由は明確か？以下の内容を必ず盛り込むこと。

- ①自身の経験など具体例(明確に)
- ②今後の抱負，夢(明確に)

3 分かりやすい英語で論理的に書かれているか？使用されている英語は適切か？

- ①内容にあいまいさや論理の飛躍がないか。
- ②英語は文法的に誤りがないか，正しい英語が使われているか。

4 以下の英語表現が正しく使用されているか？

- ①未来表現(ラーナーズ Lesson4, vivid Lesson32) will, be going to, be ~ing, be to do,
- ②目的表現(ラーナーズ Lesson13~Seminar page2) to do~, in order to do~, so as to do~,
- ③願望を表す表現(Vivid Lesson25) want to do~, would like to do~, hope that~, hope to do~, wish that~,
- ④理由を表す表現(Vivid Lesson30) Because~, because of~, this is because~,

5 先生から助言(添削)をしてもらい，原稿をよりよいものにできているか？

採点基準 30点満点

ルール(条件)		得点
構成	①段落は四つ以上使って書く。	①(2・0)
	②80語以上の英語で書く(2点)。100語以上(3点)。	②(3・2・1・0)
内容	①自身の経験など具体例が明確に書かれている。	①(3・1・0)
	②今後の抱負，夢が明確に書かれている。	②(3・1・0)
	①分かりやすい英語で論理的に書かれている。	①(3・2・1・0)
	②使用されている英語は適切である。	②(3・2・1・0)
表現	①未来表現が正しく使用されている。	①(2・1・0)
	②目的表現が正しく使用されている。	②(2・1・0)
	③願望を表す表現が正しく使用されている。	③(2・1・0)
	④理由を表す表現が正しく使用されている。	④(2・1・0)
意欲	先生から助言(添削)を受け，原稿がよりよいものになっている。	(5・3・0)

段落構成

第1段落（導入）

- ・ 学びたいこと，学びたい場所，その理由を一言で
- ・ 第2～4段落で書く内容の予告（これから何を書くか）

第2～4段落（サポート，ボディ）

- ・ 理由1 志望理由＋具体例，エピソードを挙げながら（専攻分野）
- ・ 理由2 志望理由＋具体例，エピソードを挙げながら（専攻分野，学校）

第5段落（結論）

- ・ まとめ これまでの段落で書いたことを再度まとめて書く

ブレインストーミング

まずは日本語，英語，どちらでもよいので構成を練っていきましょう！

- 何（専攻分野）を学ぶか？： What are you going to study after you graduate from high school?
- なぜその分野に興味を持ったのか？： Why were you interested in that?
- なぜそれを学ぶか？： Why do you want to study it?
- どこで(学校)で学ぶか？： Where are you going to study?
→なぜその学校で学ぶのか？ Why are you going to study it there?
- 具体例(経験)： your experience
- それを学んで将来どうなりたいか？： What do you want to be in the future?
- その目的に向けて今自分が何をしなければならないか。： What do you have to do now?

Topic Sentences	・
Supporting Sentences	・
	・
	・
Concluding Sentences	・

Sample Expression

My dream is to be ～. 「私の夢は～になることです。」 I'm interested in ～. 「私は～に興味がある。」

The reason why I am interested in ～ is ... 「私が～に興味をもつ理由は・・・」

First 「最初に」 Second 「二つ目に」 Finally 「最後に」 In conclusion 「結論として」

Therefore 「従って，そういうわけで」 However 「しかしながら」 For example 「例えば」

So, 「なので」 major in ～ 「～を専攻する」 My major is 「私の専攻は～です」

Though S+V ～, ... 「～だけれど」 This is why ～. 「こういう訳で～」

This is because ～. 「これは～だからです。」